

LINTEC

# WAVE

株主通信誌

DECEMBER 2025

98

【特集】

多種多様なラベルの世界

第132期

(2026年3月期)

中間期決算情報

証券コード：7966

# LINTEC WAVE 98

DECEMBER 2025



## 宗谷丘陵（北海道）

氷河期に土の凍結と融解が繰り返されてできた地形は「周氷河地形」と呼ばれ、北海道遺産に選定されている。冬には一面が雪原となり、幻想的な景色が見られる。

## 目次

### 2 連結業績推移

### 3 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長  
社長執行役員

服部 真

### 4 特集

多種多様なラベルの世界

### 6 トピックス

### 9 アンケート結果のご報告

### 10 決算情報

### 12 セグメント情報

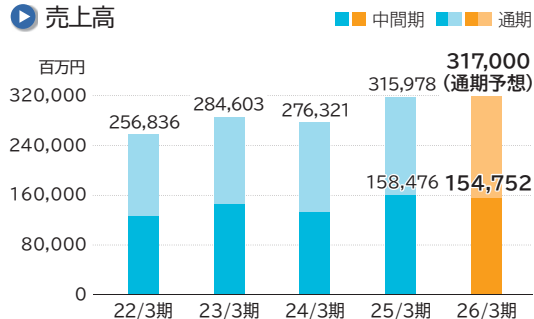
### 15 株式情報

#### （免責事項）

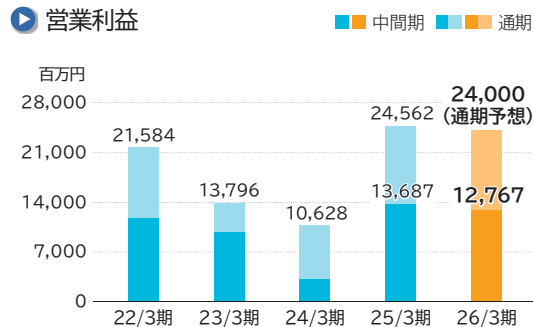
業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

## 連結業績推移

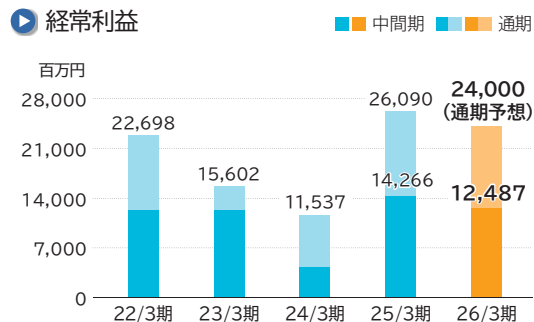
### 売上高



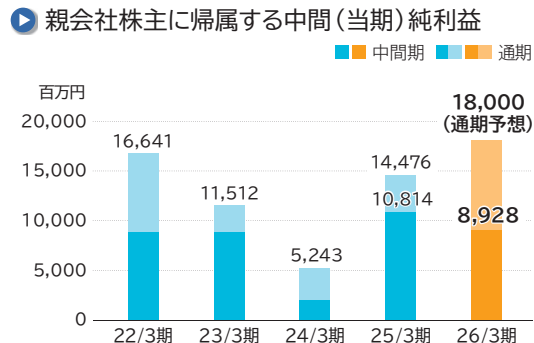
### 営業利益



### 経常利益



### 親会社株主に帰属する中間（当期）純利益





代表取締役社長  
社長執行役員  
はっとり まこと  
**服部 真**

▶ 2026年3月期中間連結会計期間(前年同期比)

売上高

**154,752**百万円 (2.4%減)

営業利益

**12,767**百万円 (6.7%減)

経常利益

**12,487**百万円 (12.5%減)

親会社株主に帰属する中間純利益

**8,928**百万円 (17.4%減)

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社グループの2026年3月期中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は半導体・電子部品関連製品が引き続き堅調に推移したものの、韓国・台湾子会社の閉鎖や為替などの影響もあり減少しました。利益面では、原燃料価格の上昇や人件費を含む固定費の増加に加え、為替影響を受けたことなどもあり、前年同期を下回る結果となりました。

通期の連結業績予想は2025年5月8日に公表した予想を変更しておりません。中間配当金は当初予想の1株当たり55円とさせていただきます、年間配当金も当初予想から変更なく110円を予定しております。また、株主還元の一環として、2025年2月より進めていた自己株式取得につきま

しては、6月で300万株、83億円を取得して終了しました。今後も手元資金を勘案のうえ、適宜必要性を判断して機動的に自己株式取得を実施いたします。

不確実性が一層高まる経営環境の中にあっても、当社は業績向上と社会的課題の解決の両立に向けて力強く歩みを進めてまいります。株主・投資家の皆様には引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

▶ 2026年3月期 連結業績予想(前期比)

売上高	<b>3,170億円</b> (0.3%増)
営業利益	<b>240億円</b> (2.3%減)
経常利益	<b>240億円</b> (8.0%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	<b>180億円</b> (24.3%増)

## 特集

# 多種多様な ラベルの世界

当社を代表する製品の 하나가、多種多様なラベル素材です。持ち前の技術力を生かし、各種ニーズに応えられる幅広い製品を開発・提供しています。ただ、一言で「ラベル」と言っても、要求される性能は目的や用途、使用環境によってさまざまです。今号では、「リンテックの主力製品をもっと知りたい」という前号の読者アンケートのご意見を踏まえ、奥が深いラベルの世界の一端をご紹介します。

ラベル素材が使用される業界は多岐にわたり、用途により求められる性能は異なります。例えば、食品・飲料関連では曲面貼付性や低温適性、日用品関連では耐水性や意匠性、自動車関連では耐久性や耐熱性などが求められます。右にはラベル素材が使われる代表的な用途を載せていますが、食品・飲料関連や流通・通販関連ではベースとなる表面基材に紙が多く採用され、それ以外の用途ではフィルムが使用されるといった傾向があります。どのような材質・形状のものに貼られ、どのくらいの期間、どのような環境下で使用されるのか、さらには機械で貼るのか人の手で貼るのか。当社では、こうしたさまざまな条件に合わせて、粘着製品の基本構成である表面基材、粘着剤、剥離紙・剥離フィルムをそれぞれ選定し、“無限大”の可能性の中から最適な組み合わせのラベル素材を提供しています。

### 食品・飲料関連

耐熱性  
曲面貼付性  
低温適性  
など



### 流通・通販関連

印字適性  
捺印適性  
低温適性  
など



### 日用品関連

耐水性  
曲面貼付性  
意匠性  
など



### 自動車関連

耐油・耐水性  
耐久性  
耐熱性  
など



### 医療・医薬関連

印刷・印字適性  
耐薬品性  
改ざん防止機能  
など



### 家電関連

耐久性  
耐熱性  
エア抜け性  
など



## 注目製品をピックアップ!

### 優れた耐水強度を持つプラスチック代替の紙ラベル素材

耐水性

環境配慮

耐水性に優れた紙を表面基材に使用したラベル素材で、近年の脱プラスチック需要に対応しています。当社は水や洗剤で洗ったり引っ張ったりしても破れにくく、クリーニングタグにも使われる耐洗紙を手がけており、その耐洗紙の製造技術を応用することで、優れた耐水強度を実現しました。表面基材が厚くコシのあるタイプは、店頭で商品を目立たせるためのアイキャッチラベルなどの用途でも採用されています。



コシのあるタイプは、アイキャッチラベルの用途に適している

### 高級感を演出するハーフ蒸着ラベル素材

意匠性

環境配慮

金属調でありながら光透過性に優れ、透明感を生かした独特なデザインが可能です。デザインの幅を広げられるため、商品の顔としての意匠性が求められる、日用品や化粧品を表示ラベルやアイキャッチラベルなどの用途で使用されています。高い意匠性を有するほか、表面基材の厚みが汎用品に比べて薄いため石油資源の使用量削減に貢献するなど、環境にも配慮したラベル素材です。



意匠性が高く、デザインの幅を広げられる

### ホットメルト粘着剤を使用したラベル素材

低温適性

環境配慮

食品衛生法に対応しており、食品に直接貼付することができます。ホットメルト粘着剤とは、熱で溶かしながら塗工する常温固形タイプの粘着剤です。製造工程において石油由来の有機溶剤を使用しないなど、環境負荷が少ない点が特徴です。2025年3月に発売した、繰り返し貼って剥がせる「RE CHILL」をはじめ、当社がラインアップの拡充に努めているラベル素材の一つです。



食品衛生法に対応しており、食品に直接貼付することが可能

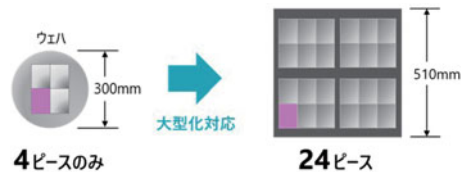
## 次世代半導体パッケージのコンソーシアム「JOINT3」に参画

当社は(株)レゾナックが設立した次世代半導体パッケージのコンソーシアム「JOINT3」に参画しました。JOINT3では、半導体材料・装置・設計の分野における世界トップクラスの企業が集結し、パネルレベル有機インターポザーに適した材料・装置・設計ツールの開発を推進します。半導体製造の後工程で使用される各種高機能テープや関連装置を手がけてきた当社は現在、次世代パッケージに関わる技術の確立にも注力しており、その一環として、JOINT3への参画を決めました。



次世代半導体においては、後工程のパッケージング技術がキーテクノロジーの一つとなっています。中でも、複数の半導体チップを並列に配置し、インターポザー(中間基板)を介して接続し実装した2.xDパッケージは、さらに需要が拡大する見込みです。インターポザーは、半導体の性能向上に伴いそのサイズが大型化しており、シリコンインターポザーから有機材料を用いた有機インターポザーへの移行が進んでいます。製造方法は、円形ウェハから四角片を切り出す手法が主流ですが、サイズの大型化に伴い、ウェハあたりのインターポザーの取り数が減少する課題が生じています。この課題に対処するため、円形のウェハから四角いパネル形状へ変更し、取り数を増加させる製造方法が注目されています。

当社はJOINT3において、これまで培ってきた粘着技術や装置技術をベースに、他の参画企業と連携しながら新たな独自技術の創出にも取り組み、技術と技術を高次元で融合させることで、半導体実装技術のさらなる発展に貢献します。



### JOINT3の概要

目的：参画企業との共創により、パネルレベル有機インターポザーに適した材料・装置・設計ツールの開発を加速

参画企業：27社(2025年9月3日時点)

活動内容：
 

- ・パネルレベル(515×510mm)の試作ラインを用いて、有機インターポザー向けの材料・装置・設計ツールを開発
- ・材料・装置メーカーが共通の試作品を作製し、共創により開発を進める
- ・技術・装置メーカーがJOINT3を「練習場」とし、パネルレベル有機インターポザーに関する技術を磨く

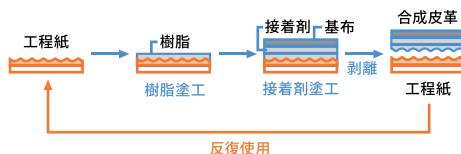
## 拡販を進める合成皮革用工程紙にフォーカス！

### ▶ 製造工程で剥がされる紙

かばんや靴、衣服や家具など幅広い用途で使用される合成皮革。この合成皮革の製造工程で、表面に柄をつける型紙の役割を担うのが、合成皮革用工程紙です。工程紙の上に樹脂を塗って基布を貼り合わせ、乾燥後に工程紙を剥がすことで柄を転写します。工程紙には柄の意匠性はもちろん、適度な剥離性や、繰り返し使用するための耐久性などが求められます。直接皆様の目に触れることはないものの、合成皮革製品の製造に欠かすことのできない存在となっています。



当社工程紙を使って製造した合成皮革



当社工程紙を使った合成皮革の製造工程  
(合成皮革メーカー)

### ▶ 140種類以上のラインアップで、グローバルに展開

合成皮革はその時々々の流行や、用途、国・地域などで求められる柄が異なります。当社では国内外のお客様とのコミュニケーションや展示会への出展などを通じて、いち早く市場のトレンドやニーズを捉え、生産現場と連携することで、新柄を開発しています。現在、ラインアップは140種類以上に拡大。当社の工程紙は、独自の剥離技術を生かした品質のよさや安定的な供給体制がお客様から高く評価されており、世界でも有数の生産量を誇っています。

#### Pick Up

#### ▶ 合成皮革用工程紙の主力工場の生産能力を増強

当社は合成皮革用工程紙の主力生産拠点である小松島工場(徳島県)に、新規塗工設備を導入しました。高速・高精度で塗工できる最新鋭の機能などが特徴で、生産能力は従来設備の約1.5倍に高まります。昨今、合成皮革は素材としての使いやすさや軽さ、機能性などの観点からも改めて各業界で注目されています。特に自動車の内装用途では、広幅の合成皮革のニーズが高まっており、当社は新規塗工設備の導入により、広幅仕様を中心に工程紙の増産を図ります。新工棟の建設を含めて、約48億円を投じた今回の設備投資を機に、インドや中国、欧州、北米などで合成皮革用工程紙の拡販につなげていきます。



小松島工場の新工棟

## 個人投資家向け会社説明会に参加

ログミー(株)主催のオンラインでの個人投資家向け会社説明会に参加しました。広報・IR室長の竹内栄一郎が、株式評論家として活躍する坂本慎太郎氏(元ファンドマネジャー)と対談する形式で実施し、当社の会社概要や製品・技術の特徴、今期の連結業績予想などを説明しました。今回のような会社説明会を通じて、当社の知名度向上や新規個人株主の獲得などにつなげていきます。



左からMCの荒井沙織アナウンサー、室長の竹内、坂本氏

会社説明会の動画はこちら ▶



## 「統合報告書2025」を発行



2025年版の統合報告書を発行しました。当社グループの強みを生かした価値創造の道筋や報告書全体を通じた情報の結合性を意識したほか、投資家の皆様から多く寄せられる質問に応えるコンテンツを拡充しました。持続的成長と事業活動を通じてサステナブルな社会の実現に貢献することを目指す当社グループの姿を説明していますので、ぜひ御覧ください。

当社ホームページの株主・投資家情報サイトから御覧いただけます。



## YouTubeの新チャンネルを開設

主に若年層へのPRを目的として、YouTubeに新チャンネル「リントック科学TVプラス」を開設しました。「くっつける」「はがす」「紙をつくる」といった当社のコア技術や製品について、実験などを通じて面白く、分かりやすく紹介しています。“科学のチカラ”を再発見できる、見て、楽しんで当社を身近に感じていただけるチャンネルです。



新チャンネルはこちら ▶





# 読者アンケートへのご協力 ありがとうございました

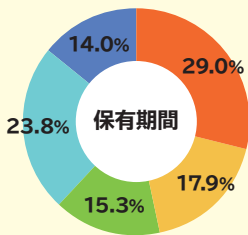


## アンケート 結果のご報告

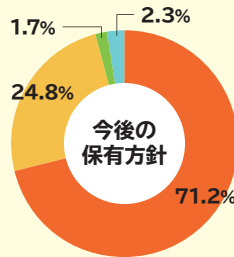
「LINTEC WAVE」第97号(2025年6月発行)で皆様にご協力をお願いしたアンケートでは、過去最高となる合計1,816件のご回答を頂きました。アンケートの集計結果やお寄せいただいた貴重なご意見・ご要望を基に、今後も一層の経営強化やIR活動の充実に努めてまいります。

### 回答者の株式保有期間と今後の保有方針について

長期保有者が半分近くを占める一方、1年未満の短期保有者も前年と比べると増加する傾向が見られました。また、95%以上の方が「現状のまま継続保有」あるいは「買い増して継続保有」をお考えです。



- 10年以上
- 5年～10年未満
- 3年～5年未満
- 1年～3年未満
- 1年未満



- 現状維持
- 買い増し
- 一部売却
- 全て売却予定(もしくは売却済み)

### 多く頂戴したご意見・ご要望の中から一部をご紹介します

ROE8%以上の水準を目指してほしい

研究開発特集において  
研究員の自由な発想を尊重する  
姿勢に感銘を受けた

テレビCMなども活用して  
社名認知向上に努めてほしい

収益性の改善に向けた  
構造改革を評価している

半導体関連事業の  
さらなる成長を期待している

将来の発展に寄与する  
新事業の創出や  
新製品の開発に期待している

### ………… ご協力ありがとうございました ……………

アンケートにご回答いただいた皆様には、当社高級印刷用紙「ニューアージュ CoC」を使用した2026年版当社オリジナルカレンダーをお送りさせていただきました。今回は、鮮やかで生命力あふれる変化に富んだ色彩が織りなす、サステナブルな未来への輝きに満ちた光景を写真に収めた、ドイツ出身のフランク・クラマー氏の作品集です。



## 中間連結財務諸表

### 中間連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)	当中間 連結会計期間	前連結 会計年度
流動資産	185,380	192,767
固定資産	141,693	147,703
① 資産合計	327,073	340,471
流動負債	65,004	69,989
固定負債	22,152	24,355
② 負債合計	87,156	94,345
③ 純資産合計	239,916	246,126
負債純資産合計	327,073	340,471

### 中間連結損益計算書及び 中間連結包括利益計算書(要約)

(単位：百万円)	当中間 連結会計期間	前中間 連結会計期間
④ 売上高	154,752	158,476
売上総利益	40,654	41,169
販売費及び 一般管理費	27,886	27,482
⑤ 営業利益	12,767	13,687
経常利益	12,487	14,266
税金等調整前 中間純利益	12,686	14,550
⑥ 親会社株主に帰属する 中間純利益	8,928	10,814
中間包括利益	2,265	21,654

#### ■ ポイント!

##### ① 資産合計

「受取手形、売掛金及び契約資産」の増加がありましたが、「現金及び預金」や「のれん」の減少などにより、総資産は133億98百万円減少しました。

##### ② 負債合計

「未払法人税等」や「流動負債その他」の減少などにより、負債は71億88百万円減少しました。

##### ③ 純資産合計

「利益剰余金」の増加がありましたが、「自己株式」や「為替換算調整勘定」の減少などにより、純資産は62億9百万円減少しました。

##### ④ 売上高

半導体・電子部品関連製品が引き続き堅調に推移したものの、韓国・台湾子会社の閉鎖や為替などの影響により、売上高は37億24百万円減少しました。

##### ⑤ 営業利益

原燃料価格の上昇や人件費を含む固定費の増加に加え、為替影響などにより、営業利益は9億19百万円減少しました。

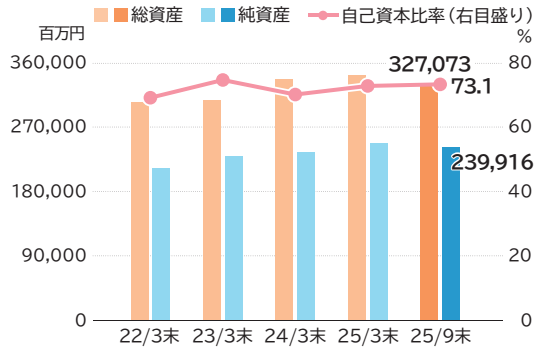
##### ⑥ 親会社株主に帰属する 中間純利益

営業利益が減少したことなどにより、親会社株主に帰属する中間純利益は18億86百万円減少しました。

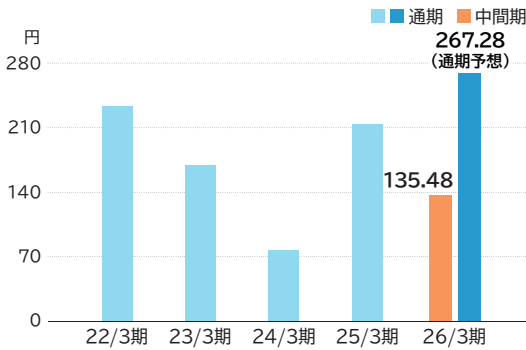
## 中間連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)	当中間 連結会計期間	前中間 連結会計期間
営業活動による キャッシュ・フロー	13,608	11,932
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,719	△11,759
財務活動による キャッシュ・フロー	△10,948	△5,564
現金及び現金同等物の 中間期末残高	46,724	49,178

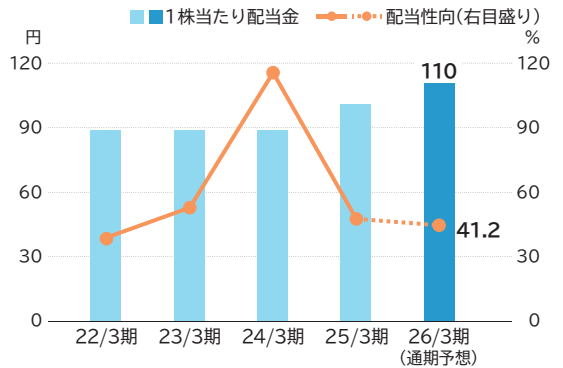
## 総資産・純資産・自己資本比率



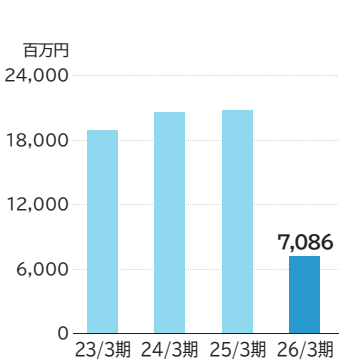
## 1株当たり中間(当期)純利益



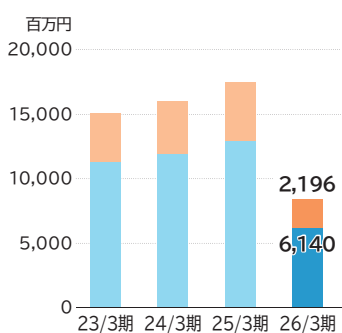
## 1株当たり配当金・配当性向



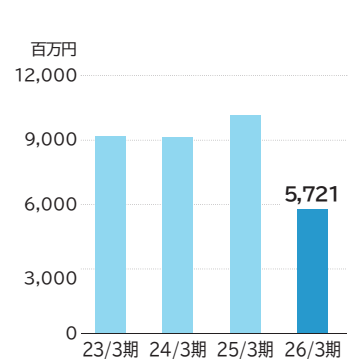
## 設備投資額



## 減価償却費 のれん償却額



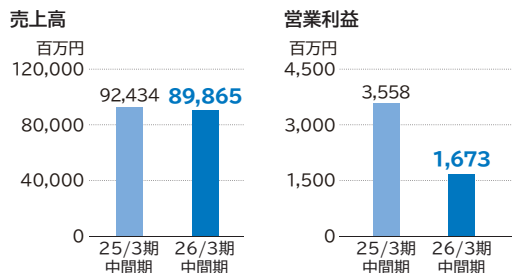
## 研究開発費



## 印刷材・産業工材関連 (前年同期比)

売上高 **898億65**百万円 (2.8%減)

営業利益 **16億73**百万円 (53.0%減)



## 印刷情報材事業部門 (前年同期比)

売上高 **713億24**百万円 (3.0%減)

### 主要製品

- シール・ラベル用粘着紙・粘着フィルム
- バーコードラベル用粘着紙・粘着フィルム



## 産業工材事業部門 (前年同期比)

売上高 **185億41**百万円 (1.9%減)

### 主要製品

- 自動車用粘着製品
- 工業用粘着テープ
- ラベリングマシン
- ウィンドーフィルム
- 屋外看板・広告用フィルム
- 内装用化粧フィルム



## 事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

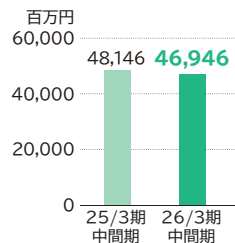
- 印刷情報材事業部門はシール・ラベル用粘着製品が、国内では医薬および物流用で前年同期並みに推移しましたが、食品関連やアイキャッチ用並びに飲料キャンペーン用などは低調に推移しました。海外では米国で販売数量は増加したものの売上構成および為替などの影響により減少したほか、中国やアセアン地域でも低調に推移しました。
- 産業工材事業部門は国内では防犯用・日射調整用ウィンドーフィルムが増加したほか、自動車用粘着製品も堅調に推移しました。海外では米国で防犯用ウィンドーフィルムの需要が低迷したほか、アセアン地域で自動車用粘着製品が減少しました。
- セグメント営業利益は米国での売上高減少や国内および米国で固定費が増加した影響などにより、前年同期に比べ減少しました。

## 電子・光学関連 (前年同期比)

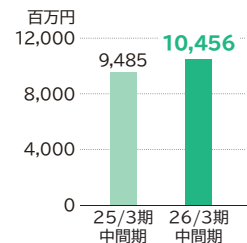
売上高 **469億46**百万円 (2.5%減)

営業利益 **104億56**百万円 (10.2%増)

### 売上高



### 営業利益

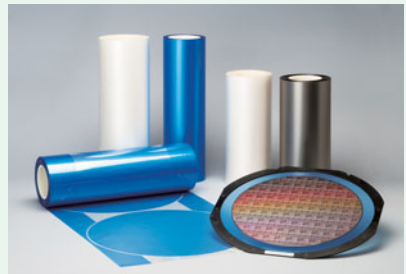


## アドバンストマテリアルズ事業部門 (前年同期比)

売上高 **426億75**百万円 (2.4%増)

### 主要製品

- 半導体関連粘着テープ
- 半導体関連装置
- 積層セラミックコンデンサ関連テープ



## オプティカル材事業部門 (前年同期比)

売上高 **42億71**百万円 (34.2%減)

### 主要製品

- 光学ディスプレイ関連粘着製品



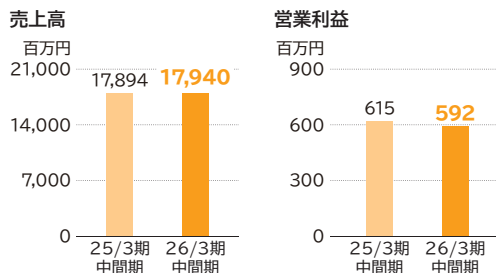
## 事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

- アドバンストマテリアルズ事業部門は半導体関連粘着テープが生成AI関連の需要増加などにより堅調に推移しましたが、半導体関連装置についてはHBM製造用の受注が一巡したことで減少しました。積層セラミックコンデンサ関連テープはデータセンターやスマートフォン向けのハイエンド用の需要増加により堅調に推移しました。
- オプティカル材事業部門はOLEDディスプレイ用粘着テープが堅調だったものの、韓国・台湾子会社の閉鎖の影響もあり売上高は減少しました。
- セグメント営業利益は増産体制強化のために導入した新設備の減価償却費や人件費などの固定費は増加しましたが、半導体・電子部品関連製品の販売数量の増加により、前年同期に比べ増加しました。

## 洋紙・加工材関連 (前年同期比)

売上高 **179億40**百万円 (0.3%増)

営業利益 **5億92**百万円 (3.7%減)



## 洋紙事業部門 (前年同期比)

売上高 **73億57**百万円 (3.0%減)

### 主要製品

- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙
- 高級印刷用紙
- 建材用紙



## 加工材事業部門 (前年同期比)

売上高 **105億82**百万円 (2.6%増)

### 主要製品

- 粘着製品用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙



## 事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

- 洋紙事業部門は工業用特殊紙が堅調に推移したものの、主力のカラー封筒用紙や耐油耐水紙は需要減少により低調に推移しました。
- 加工材事業部門は合成皮革用工程紙が減少したものの、粘着製品用剥離紙、炭素繊維複合材料用工程紙、光学関連製品用剥離フィルムが需要増加により好調に推移しました。
- セグメント営業利益は加工材事業で増販効果があったものの人件費などの固定費増加をカバーするに至らず、前年同期に比べ減少しました。

※ セグメント別の営業利益はセグメント間取引消去前の数値に基づいています。

# 株式情報 (2025年9月30日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数 (ただし自己株式を除く)	65,481,691株
単元株式数	100株
株主数	8,409人



## IRメール配信サービスのお知らせ

当社では新製品情報なども含め、株主・投資家の皆様へさまざまなニュースを幅広くお届けするため、IRメール配信サービスをご提供しています。配信をご希望の方は、当社IR情報サイトよりご登録をお願いいたします。



スマートフォンなどでこの二次元コードを読み取ると、登録ページへ簡単にアクセスできます。

[www.lintec.co.jp/ir/ir\\_mail](http://www.lintec.co.jp/ir/ir_mail)

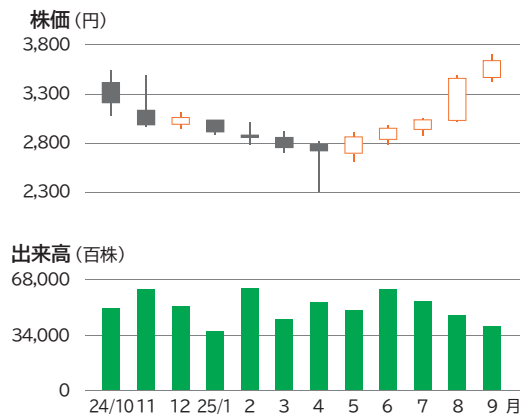
## 大株主の状況 (上位10位)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本製紙株式会社	19,659	30.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,072	9.27
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	4,373	6.67
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,380	2.10
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,377	2.10
庄司 たみ江	1,296	1.98
リンテック従業員持株会	1,242	1.89
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口4)	1,093	1.67
塩飽 恵以子	963	1.47
モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社	921	1.40

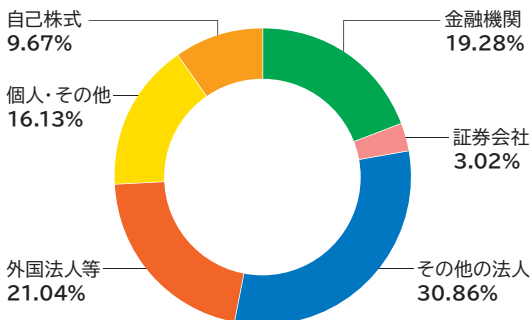
注1. 当社は自己株式7,007,049株を保有しておりますが、上記表からは除外しております。

注2. 持株比率の算定に当たっては、自己株式を控除して計算しております。

## 株価および出来高の推移 (2024年10月~2025年9月)



## 所有者別分布比率



## 会社概要 (2025年9月30日現在)

社名	リンテック株式会社 (英文: LINTEC Corporation)
本社	東京都板橋区本町23-23
設立	1934年10月15日
資本金	233億5,598万1,761円
上場	東京証券取引所プライム市場
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	連結: 5,311人 単体: 2,629人 (2025年3月31日現在)
事業所	営業拠点: 東京、札幌、名古屋、大阪、福岡など全国11か所 生産拠点: 吾妻(群馬県)、熊谷・伊奈(埼玉県)、千葉(千葉県)、 龍野(兵庫県)、小松島(徳島県)、三島・土居(愛媛県) 研究拠点: 蕨・さいたま(埼玉県)
連結子会社	国内: 3社 海外: 37社 (2025年3月31日現在)

## 株主メモ

定時株主総会	6月
配当基準日	期末: 3月31日 中間: 9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社
・郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・フリーダイヤル	☎ 0120-232-711
・ホームページアドレス	<a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou">www.tr.mufg.jp/daikou</a>
住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について	株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
株主総会資料の書面交付請求に関するご案内	株主総会資料の書面での交付を希望される場合は、株主様の口座のある証券会社または株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
法定公告掲載ホームページアドレス	<a href="http://www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html">www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html</a>



リンテック株式会社 *Linking your dreams*

● 本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23  
URL [www.lintec.co.jp](http://www.lintec.co.jp)

発行 広報・IR室 2025年12月  
TEL. (03) 5248-7741  
FAX. (03) 5248-7754

社名の由来は、リンケージ(結合)とテクノロジー(技術)。ロゴマークは、地球を表す楕円にLINTEC・LINKAGE(結合)・LOYALTY(誠実)の三つの「L」で表現したウエーブ(波)を組み合わせてデザイン。世界を舞台に飛躍していこうという決意を込めています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。